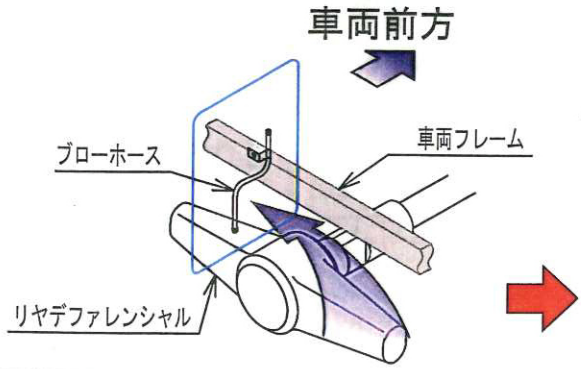
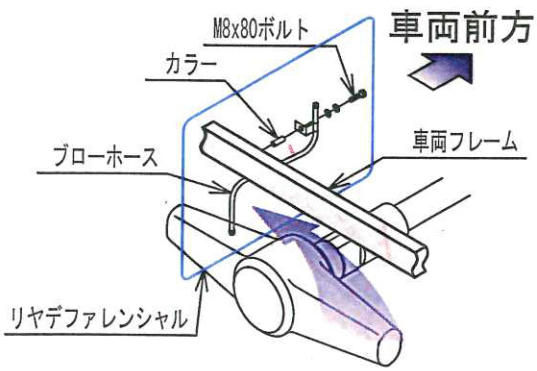
・必ずお読みください・

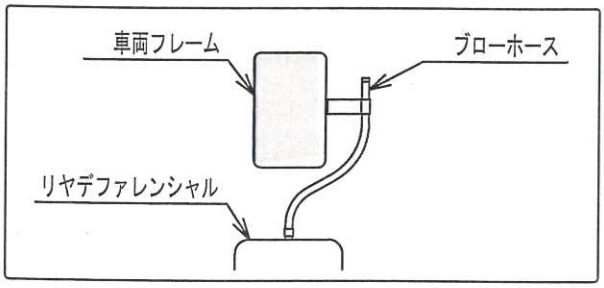
取付上のご注意

この作業を怠ると火災の原因や、ブレーキ関係の故障につながる為大変危険です。
必ず取付前に下記の作業をしてください。

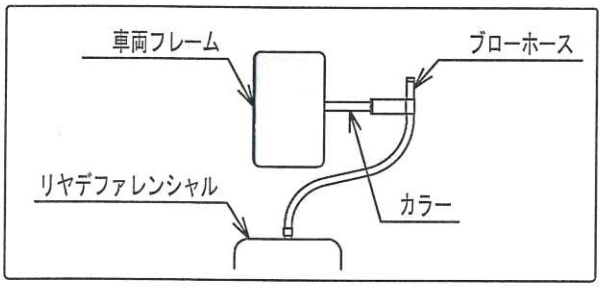
①ホースの移動
トラクションコントロール未装着車の場合
・リヤデファレンシャルから出ているブローホースを付属のＭ８Ｘ８０ボルト、カラー、平ワッシャー
スプリングワッシャーで車両前方に移動してください。





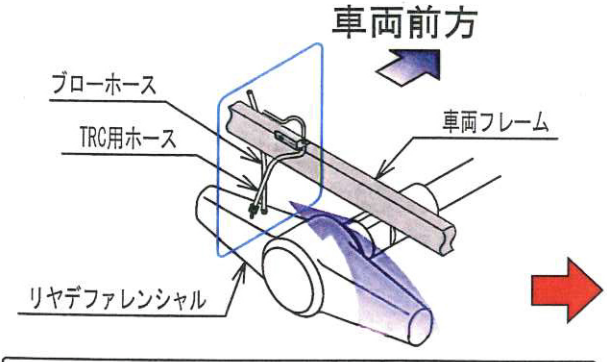


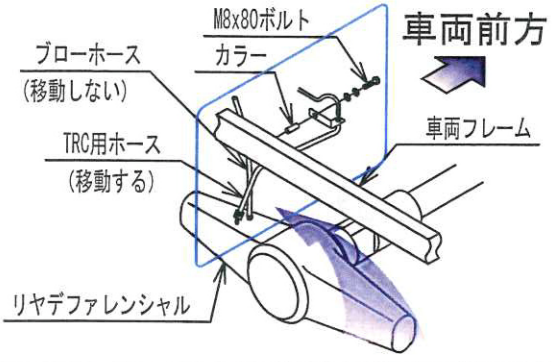
□部側面図

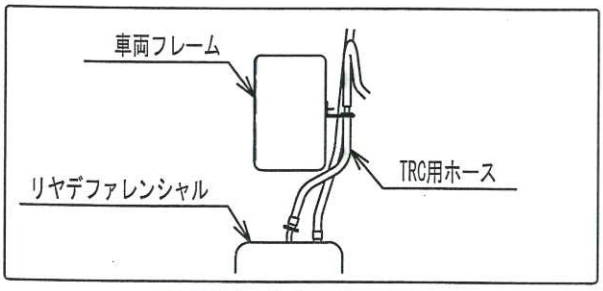


□部側面図　ブローホースを
前方に移動させます

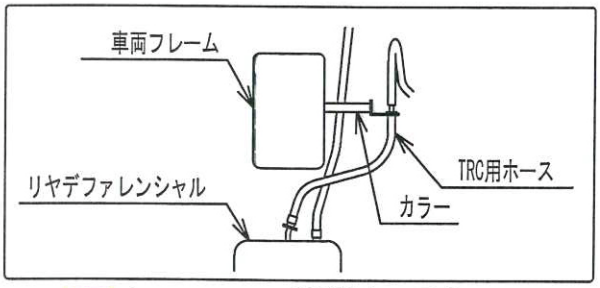
トラクションコントロール装着車の場合
・リヤデファレンシャルから出ているＴＲＣ（トラクションコントロール）用のホースを、
付属のＭ８Ｘ８０ボルト、カラー、平ワッシャー、スプリングワッシャーで車両前方に移動してくだ
さい。**ブローホースは移動しません。**







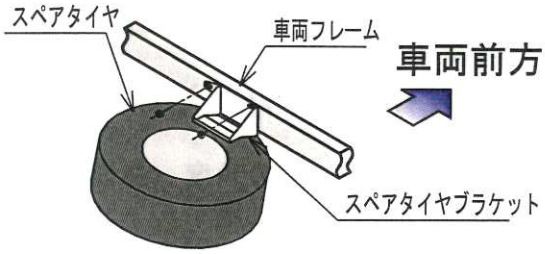
□部側面図

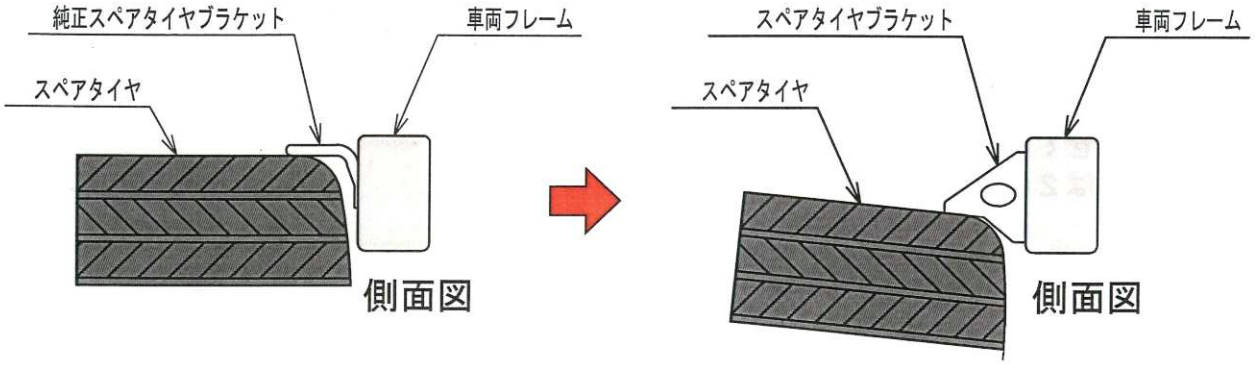


□部側面図　TRC用ホースを
前方に移動させます
（ＧＤ－１００）

この作業を怠ると火災の原因や、ブレーキ関係の故障につながる為大変危険です。
必ず取付前に下記の作業をしてください。

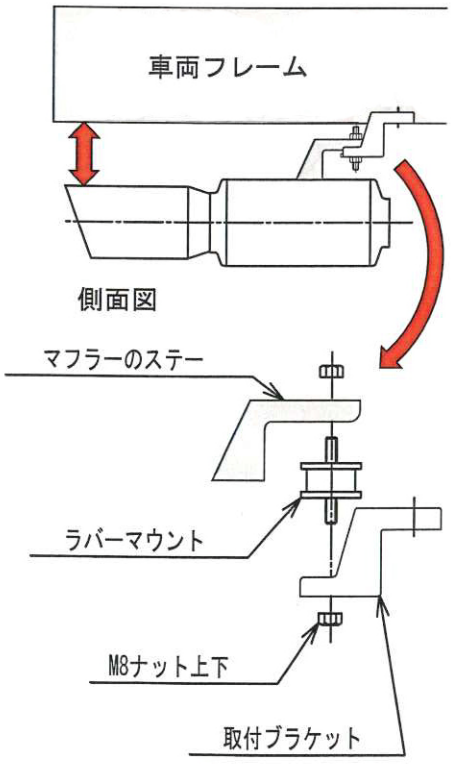
②スペアタイヤブラケットの交換
スペアタイヤ底面取付車の場合
・スペアタイヤを一旦はずし、純正ブラケットを付属の
　スペアタイヤブラケットに交換してください。
・スペアタイヤ背面取付車の場合
　スペアタイヤブラケットは不要です。

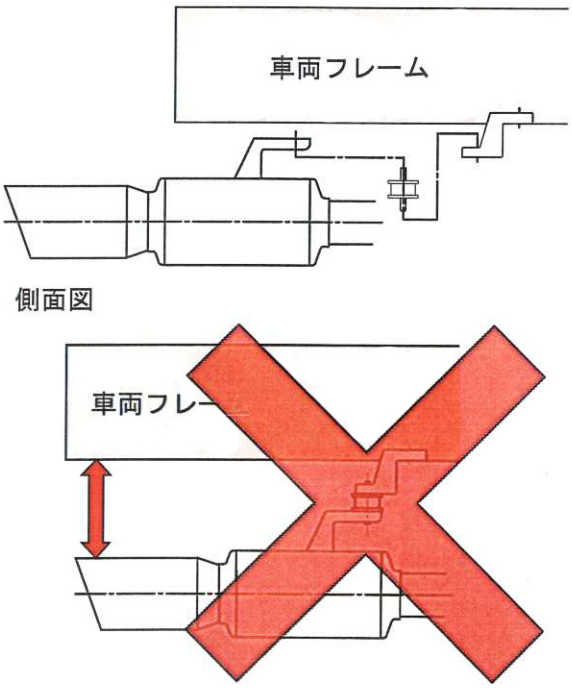




交換前は水平ですが　　交換後は斜めになります

③マフラーと車両フレームの組付け
マフラー・ラバーマウント・取付ブラケットの取付順序はお間違えのないように、何度も確認をしてください。
ラバーマウントが見えなくなる取付が正解です。





取付が間違っていると車両フレーム
とテールとの距離が広い

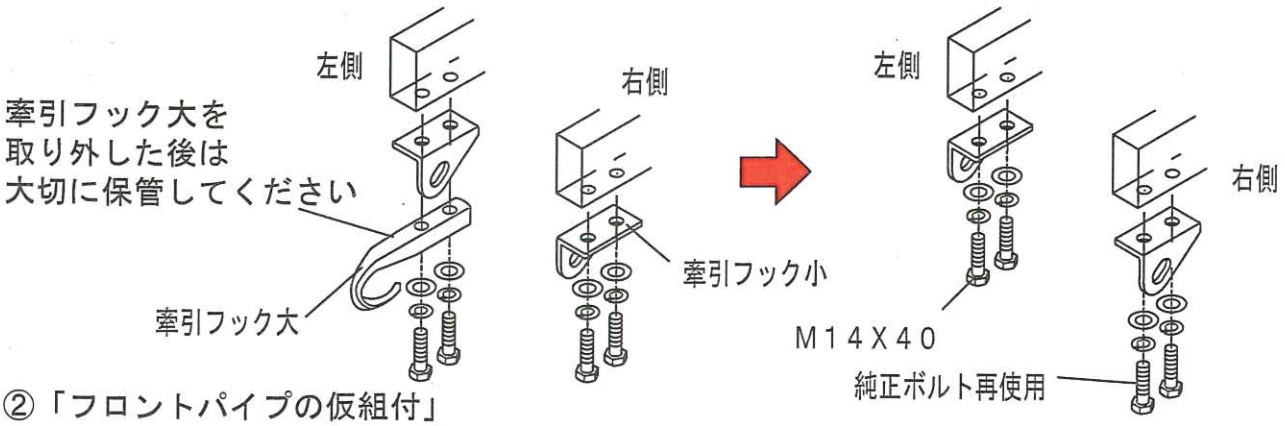
・必ずお読みください・

組付作業手順

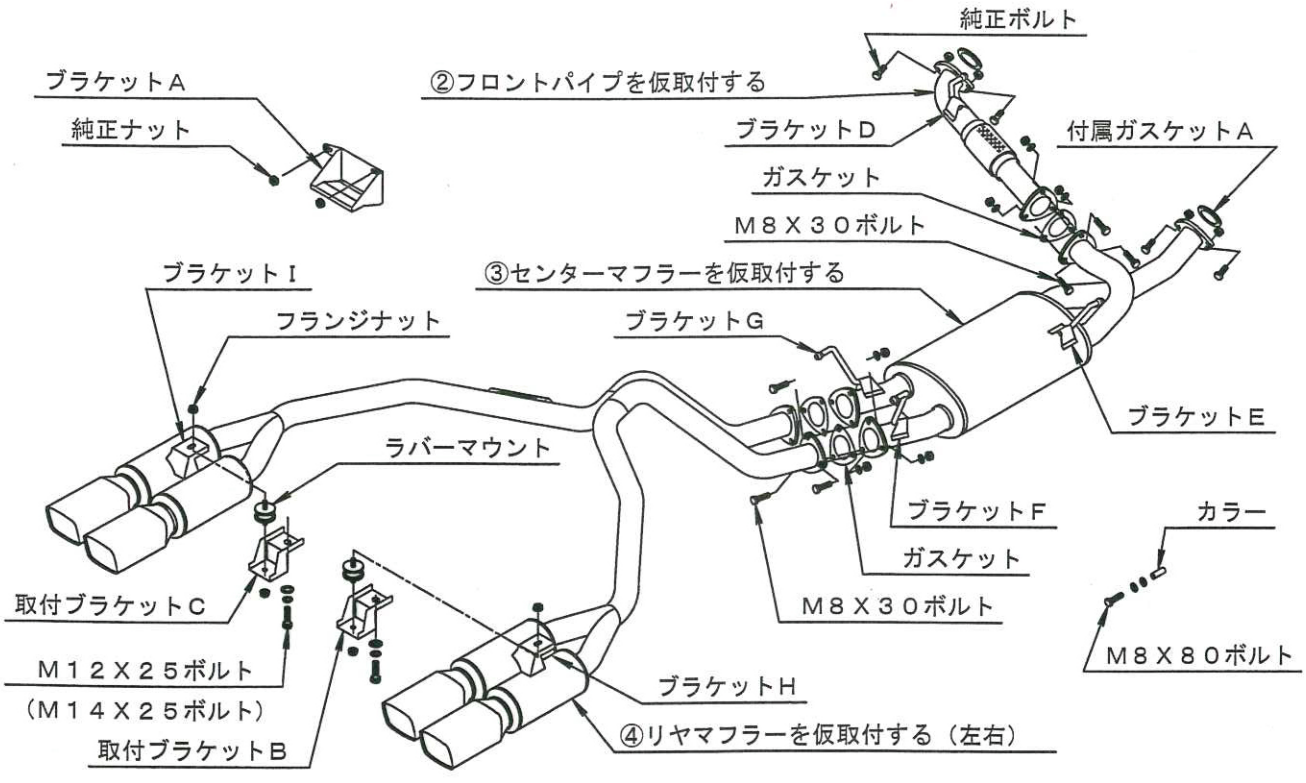
警告
作業中のケガ・ヤケド

＊文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

①「組付け準備」
※牽引フック大はテールに干渉するので取り外してください。
・車両後部にある牽引フック小を左右入れ替えます。
　右側のフックを左側へ、左側のフックを右側へ移動させます。
※牽引フックを使用する場合はマフラーに干渉する場合があります。
　ご使用時にはご注意ください。



②「フロントパイプの仮組付」
・フロントパイプ前部の取付ブラケットDを純正ラバーステーに通してください。
・フロントパイプ前部のフランジと、触媒後部のフランジとの間に付属ガスケットAを挿んで純正ボルトを通し反対側から純正ナットで仮締付けしておいてください。
・吊り下げ用ラバーステー、ボルト、ナットは純正品を再使用してください。



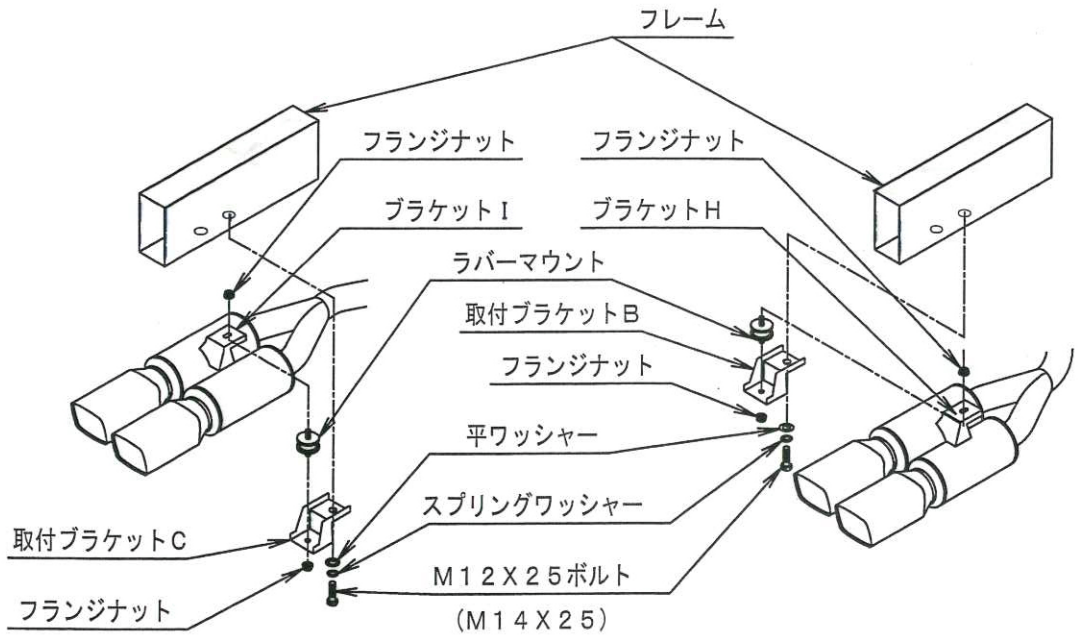
組付作業手順

警告
作業中のケガ・ヤケド

＊文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

③「センターマフラーの仮組付」
- センターマフラーの前部、後部の取付ブラケットＥ、Ｆ、Ｇを純正ラバーステーに通してください。
- センターマフラー前部フランジ（楕円）と触媒後部のフランジとの間に付属ガスケットＡを挿んで純正ボルトを通し反対側から純正ナットで仮締付けしておいてください。
- センターマフラー前部フランジ（三角）とフロントパイプ後部フランジとの間にガスケットを挿んで、Ｍ８Ｘ３０を通して反対側からスプリングワッシャー、ナットで仮締付けしておいてください。
- 吊り下げ用ラバーステー、ガスケット、ナットは純正品を再使用してください。

④「リヤマフラーの仮組付け（左右）」
※リヤマフラー取り付けの際、年式によりボルトサイズが異なります
- 車両右後方下のフレームに取付ブラケットＢを取り付けます。
  フレーム底面の後方から２番目のボルト穴に取付ブラケットの穴を合わせて
  Ｍ１２Ｘ２５（Ｍ１４Ｘ２５）ボルトにスプリングワッシャー、平ワッシャーの順に通し、下側から仮締付けしてください。
- リヤマフラー（右）の後部の取付ブラケットＨと取付ブラケットの間に付属のラバーマウントを挿んで上下から付属のフランジナットで仮締付けしておいてください。
- センターマフラーの後部フランジ（右）とリヤマフラー前部のフランジとの間に付属のガスケットを挿んでＭ８Ｘ３０ボルトを通して反対側からスプリングワッシャー、ナットで仮締付けしてください。
- 車両左後方下のフレームに取付ブラケットＣを取り付けます。
  フレーム底面の後方から２番目のボルト穴に取付ブラケットの穴を合わせて
  Ｍ１２Ｘ２５（Ｍ１４Ｘ２５）ボルトにスプリングワッシャー、平ワッシャーの順に通し、下側から仮締付けしてください。



（ＧＤ－１００）

組付作業手順

警告
作業中のケガ・ヤケド

＊文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

⑤「全　体　の　本　組　付」

・フロントパイプ、センターマフラー及びリヤマフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバー、シャーシ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら、仮締付けしてあったボルトとナットを自動車の前側から順に下記の指定トルクで締付けてください。

締付けトルク	Ｍ８	２４．５～３４．３Ｎ・ｍ（２．５～　３．５Ｋｇｆ／ｍ）
	Ｍ１０	３９．２～４９．０Ｎ・ｍ（４．０～　５．０Ｋｇｆ／ｍ）
	Ｍ１２	５８．８～７８．４Ｎ・ｍ（６．０～　８．０Ｋｇｆ／ｍ）
	Ｍ１４	７８．４～９８．０Ｎ・ｍ（８．０～１０．０Ｋｇｆ／ｍ）

・テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合があったら最初から締めなおしてください。
・クリアランス不足を放置すると異常な音がでたり、樹脂バンパーの場合、熱で溶けることがあります。

⑥「装　着　状　態　の　確　認」

・全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すぶって各部のクリアランスを確認してください。
・エンジンを始動して暖機運転し、約２，５００回転にして各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。
・試運転して再度、各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。
・以上の項目に異常があったら、面倒でも最初から装着をやり直してください。

以上で弊社マフラーの装着が完了しました。もう一度　本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをお楽しみください。

◇製造・発売元　株式会社　マツショウ
◇所在地　〒３４０－０００２
埼玉県草加市青柳８丁目６４番地２号
TEL０４８(９３５)３６３７
FAX０４８(９３１)２２４２
◇取扱説明書番号　ＧＤ－１００
◇初版作成年月日　２００３．０９．２４